

文系 高知県立大学文化学部

私は特に大学にこだわりが無く、言語・文化・国際系であればどこでもいいと考えていました。国公立にしたのは、金銭の問題と、先生から「最近 A 組から国公立の合格者が出していない」と聞いてどうしても受かってみたかったからです。結果、高知というここから遠い所に行くことになったわけですが、場所にこだわりが無い人は全国いろんな大学を検索してみてもいいと思います。また、国公立というと 5 教科 8 科目で出願しなければならないと思われがちですが、3 教科 3 科目または 4 科目で出願できる大学も多いので狙い目です。(結構あって最初驚きました。)私が受かった高知県立大も 3 教科で出願できました。しかし、受験する教科は絞らない方がいいです。模試で点数が取れていなかった世界史が本番では取れ、逆に点数の取れていた理科が失敗してしまいました。もし国語・英語・理科だけでセンター試験を受けていたらどこにも出願できなかったと思います。本番は何が起こるか分からないので満遍なく 5 教科を勉強しておいた方がいいです。

受験勉強は、塾や予備校に通っていなかったのが家庭学習期間になっても学校で勉強していました。(休日は学校に行けないので図書館で勉強)学校に勉強しに来た友達同士で辛い時も一緒に頑張ることができました。一方、1 日 10 時間以上の勉強をしている人が多い中、私は恥ずかしながら 1 日も 10 時間以上勉強したことが無く、せいぜい 6・7 時間が限界でした。もしもっと長い時間勉強していたらもう少しレベルの高い大学に入れたのかな・・・と少し後悔しています。これから受験生になる人たちには後悔しないように勉強時間を十分に確保してほしいです。また、勉強時間だけでなく、どの時間にどの教科をやるかということも重要です。私は本番の試験時間に合わせて各教科の勉強をしていました。

例えば、センター試験のための勉強だったら午後 1 時から国語を 80 分、午後 3 時 10 分から英語を 80 分・・・というようにです。そうすることで、本番のリズムを常に感じることができます。国公立の 2 次試験や私立試験の時も同様です。部活以外の日は家で寝てばかりいたことを改善するための方法でもあったので、生活リズムも良くなります。試験対策の教材は過去問がとにかく大事です。センター試験の時、あまり過去問を解けなかった英語は点数が良くなかったですが、解きまくった国語は成功しました。新たな問題集には手を出さず、過去問を解いた方が確実に点数を取れると思います。

国公立の 2 次試験の内容は、私が受けたところは小論文でした。小論文といっても、1 つの課題に対して 90 分で書き上げるなどの型ではなく、日本語と英語の小論文の 2 つが出題されるという、少し変わったものでした。これらは国語と英語の先生方に指導していただき、そのとき、小論文は知識が重要だということを教わりました。授業中に読んだり学校で配られる問題集にあたりする英文には今まで知らなかったことが載っていて、知識を増やすことに向いていると思います。

では、皆さんの納得のいく結果になるよう応援しています。

タイムスケジュール

AM				PM												AM			
5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
睡眠	身支度 通学	学校						勉強	下校 夕食 風呂			勉強 自由			睡眠				

他に合格した大学

麗澤大学 外国語学部(センター利用)

神田外語大学 外国語学部 アジア言語学科